

### 中野区地域防災計画修正日程変更案について

1. 平成19年1月 防災会議幹事会・防災会議（修正方針の変更決定）
2. 平成19年3月 防災会議幹事会（修正案の検討）
3. 平成19年5月 東京都地域防災計画（修正）決定
4. 平成19年6月 防災会議幹事会（修正案の検討）
5. 平成19年9月 防災会議幹事会・防災会議（修正案決定）
6. 平成19年10月 東京都へ事前協議・意見照会
7. 平成20年1月 防災会議幹事会・防災会議（計画(修正)決定）

#### 変更理由

昨年1月31日の防災会議以降、東京都防災会議が「首都直下地震による東京の被害想定」を公表し、今年5月の修正を目途に抜本的な見直しを行っている東京都地域防災計画と中野区地域防災計画の整合を図るため。

## 【参考】

### 1. 当初中野区修正日程（平成 18. 1. 31 了承）

- (1)平成 18 年 4 月 原稿依頼
- (2)平成 18 年 6 月 原稿取りまとめ
- (3)平成 18 年 11 月 防災会議幹事会・防災会議（修正案決定）
- (4)平成 18 年 12 月 東京都へ事前協議・意見照会
- (5)平成 19 年 3 月 防災会議幹事会・防災会議（計画(修正)決定）

### 2. 東京都地域防災計画修正日程

- (1)平成 18 年 5 月 25 日 防災会議  
震災編については、①安全な都市づくり、②地域防災力・企業防災、③道路・ライフライン、④エレベーター、⑤外出者対策、⑥避難者対策、⑦初動態勢、⑧医療救護、⑨がれき等検討、⑩復興対策の 10 の部会に分かれ、課題、対策、具体化に向けた取り組みについて検討を開始
- (2)平成 18 年 6 月 30 日 第 1 回部会連絡・調整会議
- (3)平成 18 年 9 月 20 日 第 2 回部会連絡・調整会議
- (4)平成 18 年 11 月 15 日 第 3 回部会連絡・調整会議  
修正作業
- (5)平成 19 年 1 月 26 日 防災会議幹事会（修正素案決定）  
国へ事前協議・意見照会
- (6)平成 19 年 3 月 防災会議幹事会
- (7)平成 19 年 5 月 防災会議

## 東京都地域防災計画（素案）について

### 1 計画の目的

○東京都地域防災計画は、災害対策基本法に基づき東京都防災会議が策定する計画であり、震災及び風水害に係る予防対策、応急・復旧対策等を実施することにより、都民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的としている。

### 2 見直しの経緯

○昨年5月に新たな首都直下地震の被害想定を公表したこと、阪神・淡路大震災や新潟県中越地震、千葉県北西部地震、さらには杉並区・中野区等で発生した集中豪雨など最近の災害から得た教訓等を踏まえ、抜本的な見直しを行った。

### 3 計画の特徴

	震災編	風水害編
1	減災目標を初めて設定	局地的集中豪雨対策を強化
2	都市型災害対策を強化	大洪水対策も想定
3	訓練の成果を反映	
4	マスタープランからマニュアルへ	

### 4 計画の内容

#### << 震災編 >>

#### (1) 減災目標を初めて設定

目標1 死者の半減
目標1-1 住宅の倒壊による死者の半減 東京湾北部地震 M7.3、朝5時のケースで、住宅倒壊や家具類の転倒を原因とする死者を半減する（約3,000人⇒約1,500人）。

#### <目標を達成するための主な対策>

##### ア 建物の耐震化

- 住宅の耐震化率を約76%から90%とする。
- 緊急輸送道路沿いの建築物を100%耐震化する。

##### イ 家具類の転倒防止対策の推進

- 家具類の転倒防止対策実施率を約35%から60%とする。

#### ウ 救出・救護体制の強化

- 防災市民組織を6,000から7,200に増やすとともに、防災リーダーの育成や訓練を実施し、自助・共助による地域の防災力を高める。
- 災害発生現場で活動する災害医療チーム(東京DMAT)の充実を図る。

### 目標1-2 火災による死者の半減

東京湾北部地震 M7.3、夕方6時、風速15m/sのケースで、火災による死者を半減する(約3,500人⇒約1,700人)。

#### <目標を達成するための主な対策>

##### ア 木造住宅密集地域の不燃化

- 住宅・建築物の不燃化を進め、特に木造住宅密集地域については、重点整備地域の不燃領域率を60%にする。
- 延焼遮断帯となる都市計画道路や防災拠点となる公園を整備し、街路樹や生垣などによる緑の防災ネットワークを形成する。

##### イ 消防力の充実・強化

- 消防団の定員の充足、活動の強化を図るとともに、消防水利不足地域を解消し、消防車両や装備を充実する。

##### ウ 都民や事業所の火災対応力の強化

- 防災市民組織を増やすとともに、事業所自衛消防隊との連携を図り、地域の初期消防力を強化する。

##### エ 救出・救護体制の強化(再掲)

### 目標2 避難者の減

#### 目標2-1 住宅の倒壊や火災による避難者を3割減

東京湾北部地震 M7.3、夕方6時のケースで、住宅倒壊や火災による避難者を3割減する(約300万人⇒約210万人)。

#### <目標を達成するための主な対策>

##### ア 建物の耐震化(再掲)

##### イ 木造住宅密集地域の不燃化(再掲)

##### ウ 消防力の充実・強化(再掲)

##### エ 都民や事業所の火災対応力の強化(再掲)

**目標2-2 ライフライン被害等による避難者を7日以内に帰宅**  
東京湾北部地震 M7.3、夕方6時のケースで、ライフライン被害等による避難者を7日以内に帰宅できるようにする。(約100万人⇒解消)

<目標を達成するための主な対策>

ア 応急危険度判定の迅速化

- 被災住宅に対する応急危険度判定を7日間で完了させるため、応急危険度判定員の確保と研修の充実を図る。

イ ライフラインの早期復旧

- ライフラインの早期復旧を図るため、広域的な応援受け入れ拠点を確保し、応急復旧の迅速化を図る。

ウ エレベーターの早期復旧

- マンション等のエレベーターを早期に復旧するため、「1ビル1台」の復旧ルールを徹底を図る。

**目標3 外出者の早期帰宅**

外出者を4日以内に帰宅

東京湾北部地震 M7.3、夕方6時のケースで、外出者を4日以内に帰宅できるようにする(約1,144万人⇒解消)。

<目標を達成するための主な対策>

ア ターミナル駅混乱防止対策の推進

- 大量の滞留者による混乱を防止するため、駅ごとに都、区市、鉄道事業者、駅周辺事業者等で構成する混乱防止対策協議会を設置する。
- 災害情報提供システムを活用し、駅周辺に滞留する外出者に対して、必要な情報を提供する。

イ 帰宅支援の強化

- 私立学校への協力要請による帰宅支援ステーションの拡充を図るとともに、バス・船舶による代替輸送手段を確保する。

ウ 鉄道の早期復旧

- 徒歩帰宅困難者の早期帰宅を図るため、地震に強い大江戸線など地下鉄を早期に運転再開するとともに、鉄道の折り返し運転を実施する。

## (2) 都市型災害対策を強化

### ア エレベーターの閉じ込め防止・早期復旧

- エレベーターの閉じ込め防止機能の向上を図るとともに、救出体制や早期復旧体制を構築する。

### イ 外出者対策

- ターミナル駅混乱防災対策の推進（再掲）
- 帰宅支援の強化（再掲）
- 鉄道の早期復旧（再掲）

## (3) 訓練の成果を反映

### ア 八都県市連携による広域対応

- 「八都県市広域防災プラン」（震災編）に基づき、八都県市で共同運営する応援調整本部を設置し、相互の応援を調整する。

### イ 海外支援部隊の受け入れ・在日米軍への支援要請

- 昨年初めて総合防災訓練に参加した海外支援部隊の受け入れや在日米軍への支援要請について明記した。

## (4) マスタープランからマニュアルへ

- 応急・復旧対策のマニュアルとして活用できるよう、発災後概ね7日間の時間経過に応じた対策、実施機関を明記した。

## << 風水害編 >>

### (1) 局地的集中豪雨対策を強化

#### ア 総合的な治水対策の推進

- 河川と下水道が連携した効果的な治水対策を推進する。
- 雨水流出抑制対策や適切な土地利用への誘導など流域対策を推進する。

#### イ 初動態勢の強化

- 気象庁とのホットラインにより、不確定ではあるが重要な気象情報を収集し、災害発生前に初動態勢を確立する。
- 都の活動体制や他の機関との連携に関して集中豪雨初動行動要領をとりまとめ、迅速な初動態勢の確立を図る。
- 突発的・局地的な集中豪雨に対応するため、「災害即応対策本部」を設置し、一元的かつ機動的な体制を確立する。

#### ウ 区市町村、防災機関との連携強化

- 同一流域区市町村では、集中豪雨により河川の増水や氾濫が同時に起こる可能性が高いため、当該区市町村に避難行動をとるべき区間や浸水状況等の情報を提供し、統一的な対応が取れるようにする。
- 土砂災害の恐れのある区域について、区市町村が災害応急対応を適切に行えるよう、気象庁と都が共同して土砂災害警戒情報を発表する。

#### (2) 大洪水対策も想定

- 大河川が決壊し、都県境を越えて避難しなければならない場合に備え、八都県市広域防災プラン（風水害編）に基づき、八都県市において連絡体制や調整の仕組みなど広域避難対策の具体化に向け検討を進める。

#### (3) 訓練の成果を反映

##### ア 八都県市連携による広域対応

- 「八都県市広域防災プラン」（風水害編）に基づき、八都県市で共同運営する応援調整本部を設置し、相互の応援を調整する。

##### イ 海外支援部隊の受け入れ・在日米軍への支援要請（再掲）

#### (4) マスタープランからマニュアルへ（再掲）

### 5 スケジュール

- 1月26日 東京都防災会議幹事会に素案を提示
- 2月 1日 総務委員会に報告
- 1月～2月 都民、区市町村、事業者の意見公募
- 3月 計画案の作成、国への協議
- 5月 東京都防災会議の開催（計画決定）

資料2

中野区の被害想定

【平成18年3月 東京都防災会議地震部会 首都直下地震による東京の被害想定（最終報告）】

条件	種類	東京湾北部地震		多摩直下地震		東京湾北部地震		多摩直下地震		東京湾北部地震		多摩直下地震		東京湾北部地震		多摩直下地震	
	規模	M6.9	M7.3	M6.9	M7.3	M6.9	M7.3	M6.9	M7.3	M6.9	M7.3	M6.9	M7.3	M6.9	M7.3	M6.9	M7.3
	時期・時刻	冬・18時		冬・18時		冬・18時		冬・18時		冬・18時		冬・18時		冬・5時		冬・5時	
	風速 (m/s)	6m		6m		15m		15m		3m		3m		6m		6m	
震度別面積率	5強 (%)	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0
	6弱 (%)	98.7	100.0	100.0	100.0	98.7	100.0	100.0	100.0	98.7	100.0	100.0	100.0	98.7	100.0	100.0	100.0
急傾斜地危険箇所		14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
建物被害	全壊棟数	361	1,855	639	1,136	361	1,855	639	1,136	361	1,855	639	1,136	361	1,855	639	1,136
火災	出火件数	12	21	14	19	12	21	14	19	12	21	14	19	5	13	4	10
	焼失面積 (Km2)	2.37	4.55	2.80	4.28	2.72	4.92	3.44	4.93	1.02	1.95	0.96	1.65	0.36	1.06	0.20	0.71
	焼失棟数 (全壊除く)	10,633	18,772	11,258	19,152	12,470	20,113	11,258	21,961	4,572	7,977	4,146	7,370	1,627	4,390	836	3,189
人的被害	死者数	122	268	181	289	139	291	256	330	41	125	62	137	15	62	22	39
	負傷者数 (うち重傷者数)	1,866	4,131	2,495	3,559	1,937	4,202	2,627	3,693	1,587	3,635	2,120	3,023	1,668	4,917	2,220	3,269
ライフライン	電気 (停電率 %)	12.8	24.5	13.5	23.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	通信 (不通率 %)	15.7	28.0	16.8	26.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ガス (供給停止率 %)	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	水道 (断水率 %)	14.0	25.3	18.0	21.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	下水道 (管きよ被害率 %)	22.0	22.0	22.0	22.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	避難者発生数 (1日後)	92,415	157,638	98,910	143,276	101,436	164,086	98,949	157,280	-	-	-	-	-	-	-	-
	帰宅困難者発生数	41,581	41,581	41,581	41,581	41,581	41,581	41,581	41,581	41,581	41,581	41,581	41,581	-	-	-	-
	エレベーター閉じ込め台数	154	174	165	176	154	174	165	176	154	174	165	176	-	-	-	-
	災害要援護者死者数	26	63	38	59	31	69	58	70	-	-	-	-	-	-	-	-
	自力脱出困難者数	42	237	78	143	42	237	78	143	42	237	78	143	-	-	-	-